

社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会3部会合同開催での質問に対する回答

○令和5年7月14日開催の保健福祉部会・介護保険部会・認知症施策部会で質問

- 認定者一人当たり費用額は、大阪市が134,784円、全国が132,967円と若干ではあるが大阪市が全国を上回っているが、利用者一人当たりの費用額は、すべての介護度において全国が大阪市を上回っている。これは、認定を受けてもサービス利用しない方が、大阪市の方が多からこのような状況になっているということか。

認定者一人当たり費用額

本市 134,784円 全国 132,967円（令和5年1月）

被保険者一人当たり費用額

本市 36,631円 全国 25,723円（令和5年1月）

○利用者1人当たりのサービス費用額

（単位：千円）

令和5年1月		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
大阪市	居宅サービス	15.7	23.1	72.7	103.4	156.3	206.9	281.2
	地域密着型サービス	55.1	130.2	91.9	115.0	165.4	197.7	242.1
	施設サービス	—	—	290.9	312.0	312.0	338.7	356.6
	合計	20.6	28.7	90.5	123.3	192.0	252.5	305.4
全国	居宅サービス	17.2	24.9	71.6	94.6	138.5	173.4	214.4
	地域密着型サービス	52.3	115.4	107.7	147.7	212.9	250.0	283.4
	施設サービス	—	—	277.6	295.6	299.7	320.8	343.4
	合計	21.9	30.6	108.6	146.2	226.1	271.8	310.6

社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会3部会合同開催での質問に対する回答

○ **認定を受けてもサービスを利用しない方の割合**について、厚生労働省が提供する「介護保険事業状況報告（令和5年1月）」から積算した

- **全国が（100－87.1）12.9%、大阪市が（100－84.9）15.1%**と若干であるが本市の方が高く、これが、認定者一人当たり費用額が全国よりも本市が上回っているにもかかわらず、利用者一人当たり費用額で見ると、全国が本市を上回る状況につながっているものとする。
- ちなみに、全国と本市の費用額を比較した際、本市が全国を上回る要因としては、本市の地域区分が2級地で、1単位単価が訪問介護で11.12円、通所介護で10.72円と高く設定されていることも影響しているものと推察される。

介護保険事業状況報告（R5.1末）より

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
認定率 (第1号認定者数／第1号被保険者数)	大阪市	5.1%	3.4%	4.1%	4.4%	3.4%	3.7%	2.6%	26.7%
	全国	2.7%	2.6%	4.0%	3.2%	2.5%	2.4%	1.6%	19.0%
サービス利用率 (第1号サービス利用者数／第1号被保険者数)	大阪市	5.1%	3.4%	4.1%	4.4%	3.4%	3.7%	2.6%	22.6%
	全国	1.0%	1.4%	3.9%	3.4%	2.7%	2.5%	1.6%	16.4%
サービス利用割合 (サービス利用者数／認定者数)	大阪市	－	－	－	－	－	－	－	84.9%
	全国	－	－	－	－	－	－	－	87.1%